

◆ 一般会計・歳入決算額とその推移 ◆

歳入総額は494億2770万円となり、前年度と比較すると、28億4438万円の減(△5.4%)となりました。

	区 分	平成 30 年度		平成 29 年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比
自主財源	市税	231億6509万円	57.1%	233億2344万円	57.0%
	繰越金	17億349万円		12億3367万円	
	諸収入	9億7090万円		10億2085万円	
	繰入金	8億1239万円		25億7643万円	
	使用料及び手数料	6億8522万円		6億9211万円	
	分担金及び負担金	5億9585万円		5億7443万円	
	財産収入、寄附金	3億1294万円		3億7616万円	
依存財源	国庫支出金	79億7375万円	42.9%	89億9187万円	43.0%
	県支出金	37億7158万円		35億6707万円	
	市債	32億5020万円		40億2030万円	
	地方消費税交付金	27億7304万円		26億2875万円	
	地方交付税	24億3608万円		22億7263万円	
	地方譲与税	3億3538万円		3億403万円	
	自動車取得税交付金	1億7802万円		1億6427万円	
	地方特例交付金	1億2862万円		1億1765万円	
	その他	3億3515万円		4億842万円	
合 計		494億2770万円	100%	522億7208万円	100%

◎ 用語解説 ◎

自主財源	市税や使用料など、市が自主的に収入できる財源
依存財源	国庫支出金や市債など、収入の源泉を国や県に依存し、その額と内容が国や県の基準に基づくもの